

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年12月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103417
法人名	社会医療法人 天陽会
事業所名	グループホームさくらじま
所在地	鹿児島市野尻町49番地1号 (電話) 099-245-0818
自己評価作成日	令和元年11月20

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和1年12月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設場所には広大な敷地があるため、鹿児島市内でも珍しい平屋作りのグループホームです。共同スペースのリビングも広々としており、車椅子の対応も十分に行えます。桜島病院に隣接していることから、定期受診や急な特診等にも迅速に対応できます。また、看護師による定期的な利用者様の健康チェックや作業療法士と共同で生活機能向上にも努めております。医療機関等との連携が充実している為、利用者様、そしてそのご家族も安心して生活することができています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、隣接した同一法人医療機関との連携が密で、医師の定期受診・緊急時の対応・看護師や薬剤師の助言、理学療法士などの訪問治療体制が構築され、健康管理が行き届いており利用者、家族の安心感を得ている。

人事考課システムがあり、管理者は年2回職員との個人面談を実施、職員一人ひとりが自己目標に向けて取り組めるよう勉強会や研修会の充実を図り、外部研修への参加を促すなどスキルアップができるよう努めている。
また、毎月のミーティングなどでは、職員から意見、提案を聞く機会を設け、ストレスチェックを実施、職員が働きやすい職場環境を整備し職員のキャリアアップ、育成に力を入れている。

職員の間関係も良好で離職が少なく、年1回親睦会をおこなっている。

年2回消防署の協力を得、避難訓練を実施、また地域とは防災協定を締結し協力関係を築いている。桜島の火山噴火による被害や地震、津波などの災害の危険性も高いため、同施設は地域住民の避難場所に指定されている。職員は、災害時や緊急時の応急対策のためAEDの使用法や救急救命法を習得している。同法人の防災委員会があり、鹿児島市主催の桜島全体の防災訓練には利用者も職員とともに参加をするなどして防災意識を高め地域と連携している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	リビングの目立つ場所に理念を大きく掲げ、常に意識し職員間で意思の統一・共有を図っている	理念は、共有スペースに大きく掲示されており、毎月の広報紙やパンフレットに掲示している。ミーティングでも触れ共通認識を図るよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームで交流会を開いたり、地域主催の行事等に参加している。	地域の行事（文化祭、運動会など）を通じて交流したり、家族会に民生委員が参加するなどしている。また、養護学校の子供達との交流活動があり、地域ボランティアの受入れも柔軟におこなっている。近隣で開催されるイベントへ参加し、今後も交流する予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	学校で行われる職場体験等の学生受け入れをしている。高齢者の方への理解をいただく機会としている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での出来事をありのままを報告し、様々な意見を取り入れながら、サービスの向上や改善等に努めている。	年度初めに会議メンバーに日程表を配布して参加を促している。また、家族には、輪番制で参加していただいております。事業所の取り組み状況などを報告し、課題などについて共に話し合い、意見交換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に参加していただいたり、鹿児島市からの相談員を受け入れ行政との情報交換など相互の協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者や福祉事務所職員との協力関係があり、日常的に相談や助言をいただくなど良好な関係を築いている。また、介護相談員の受け入れも柔軟に行いサービス向上に活かしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束についての勉強会を定期的に開催し、一人ひとりが身体拘束について知識等を深めている</p>	<p>制度改正があり、指針の整備を行い身体拘束適正化等委員会は定期的に開催し、会議の内容についてはミーティングで職員に周知徹底している。また、内部研修会では、知識や技術を研鑽している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に虐待等に特化した勉強会を実施し、虐待防止について検討を繰り返している。毎週看護師による健康チェックも行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ミーティング時、成年後見制度等の勉強会を設けていたが、最近では実施できていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時の締結は、管理者が確実にいき、改定の際は家族に書面で報告している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会などご家族がお揃いになる場等で担当の職員は各ご家族と懇談会を開き、状況報告や要望等を聞いている。</p>	<p>家族の思いを把握するため、日頃から面会時や家族会、行事開催時などに担当職員を中心に意見・要望が出しやすい雰囲気作りを心がけ意見交換をしている。職員は、家族面談後、相談内容などを記録し職員全員で確認して検討するなど情報共有を図り、サービスの質の向上に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1のミーティングで、業務内容等について、スタッフの意見を述べる場を設け皆で考えている</p>	<p>管理者は、年2回職員と個人面談しているが、職員の大半が地元の方が多く関係性は良好で離職率も低い。ストレスチェックを実施し、ミーティングなどで意見・提案を聞く機会を設け職員が働きやすい職場環境を整備している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>ミーティングの中で業務改善事項について全職員で話し合う場を設けている。提案・要望等があれば聞くようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修への参加は積極的に行っている。月1回のホーム内研修だけではなく、院内・院外研修にも研修委員会を中心に参加している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同系列のグループホーム等と連絡を取り合い、合同で勉強会を行ったり、サービスの質や知識を深めるために情報交換をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>自分の意思を表現できない入居者様に対しては、ご家族等の要望を聞き入れている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会時に入居者様の生活状況をお伝えし、改善が必要な場合は、お互いに意見を出し合えるような関係を築いている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用前に、ご家族の要望等を聞き出せるよう努めている。そして安心・納得のいくサービスを検討している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様一人ひとりのできることを見極め、お手伝いをして頂いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会等でできるだけご家族と入居者様が一緒にできるゲームを考えたり、水入らずの空間をつくるように工夫している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外来等で馴染みの人とあった時は、ゆっくり話を楽しんでいただいている。また、地域行事に参加し、関係が途切れないように努めている	隣接した病院の外来で、地域や友人の方々の面談もある。毎週移動販売の来訪があり、利用者の楽しみになっている。職員は、利用者の馴染みの場所にドライブしたりと本人のこれまでの生活歴などを参考にして馴染みの関係性が継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性が強く利用者同士がトラブルがあればカラオケやレクリエーション等で気分転換ができ雰囲気を変えるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、家族会に招待したり、相談を受けた場合は協力し、出来るだけ最善を尽くしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランを立てるときには、必ずご本人や家族の希望をお聞きして、意向に添える様なプラン作りに努めている。また、一人ひとりの日頃の言動からその人の思いをくみ取るよう努めている	本人の日頃の暮らしぶりや言動などを参考にして、ミーティングなどで利用者の思いを共有して話し合い、本人らしい暮らしの実現に向けて本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、あるいは入居前にご本人の生活歴についてはご家族等から詳しく話を伺う時間を設け情報の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録に一人ひとりのその日の生活の様子、状態などを記録し全職員がそれを共有することで現状の把握ができています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に2回のケア検討会と、定期的に行うサービス担当者会議において、本人や家族の意見を伺いその人らしく安心して暮らせる介護計画になるよう努めている	ケアカンファレンスにて、担当職員を中心にアセスメントやモニタリング結果を踏まえ話し合い、本人の楽しみやしたいこと、できることなどを計画・実践に繋げている。職員は、短期目標の期間満了やサービス内容の変更が必要な時など、再アセスメントし計画の見直しを柔軟におこなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録に日々の様子を記録している。それを職員間で共有しサービスの質を高められるよう意識している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の時折外出したい要望がある時などがあれば随時スタッフがホームの車で自宅など見学しに行くこともある。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の体育館や福祉館等で家族会等を行い地元の人たちにも参加してもらったり、ボランティア等も受け入れて交流する機会になっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隣接する桜島病院の医師がかかりつけ医となり定期的（2週間ごと）に受診し、健康管理を行っている。また病状に応じて専門医の受診を支援している	母体法人医療機関が協力医であり、隔週ごとに外来診察にて診察や検査などを受けている。また、看護師がバイタルチェックするなどして健康観察・助言し職員が体調管理をしている。他科受診は家族に協力をいただき、訪問歯科診療や緊急時や体調不良などを含め適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週に一回隣接する桜島病院の看護師の訪問があり、利用者の状態を報告・相談している		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	病院が隣接しているので、入退院の時など常時連絡を取り、入居者様の情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ご家族との話し合いを基に看取りなども行ったことがある。入居者様を最期まで介護する支援をしている。	重度化における事業所の対応については、指針を見直し「事前確認書」を整備している。看取りについては、主治医、本人、家族と十分に話し合い、本人の状態や事業所の状況など現状を踏まえ実施・検討する体制があり、看取りの経験もある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急や事故発生（火災等）に特化した勉強会を行い、いざという時に対応できるよう実践力を身につけるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防の方を交え、訓練を行っている。桜島噴火等にも対応できるよう地域と連携していきたい</p>	<p>非常用持ち出し袋が準備されており、備蓄は、法人との協力体制がある。火山爆発時の避難体制や避難先は確定されており、地域と協定を結び自然災害時においても協力関係がある。管理者は、水害に対する避難等が具体性がないため今後検討したいと考えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇委員会やホーム内でも接遇などの勉強会を行い、適切な声かけなどができるようにスタッフ1人ひとりが誇り等を尊重できる対応力を身につけている	ミーティング時、様々な対応のあり方を、ロールプレイングしてスキルアップを図っている。また、感情のコントロールをおこなうため互いに声かけし、声のトーンに気をつけるなどしている。定期的な研修会も実施し、知識や技術を自己研鑽している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけをして様々な選択肢を提供し、入居者様が自由に選び安心して自己決定ができる環境作りに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床の時間や入浴のタイミングなどは、入居者様に合わせて実施している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容師に来てもらいホームで散髪。希望の方がいらっしゃればパーマをかけに連れて行ったりしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	できる方は一緒に食事の準備をしたり、色どりや趣向を工夫している。配膳や後片付けも一緒に行っている。時々外食にも行っている	ユニットごとに職員が献立を立て調理しているが、地域や家族からの差し入れも多く、料理の味付けも美味しく食べられるよう工夫している。外食は、家族と出かけたり、本人の希望や少人数にて道の駅、ファミリーレストランに出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝、牛乳やヤクルトを飲まれる方には提供している。水分量等については個別に記録している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼食後、夕食後には必ず口腔ケアを促し、必要な方には口腔ケアの介助を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能であればできるだけトイレでの排泄を心掛けている。トイレ回数が多い入居者様に対してもスタッフが入れ替わり対応している。記録等でも排泄パターンをなるべく把握できるよう心掛けている	病院の理学療法士のアドバイスをもらったり、排泄動作をスムーズに実施し自立を図るため集団体操や立ち座り動作訓練をしている。おむつ対応の方もいるが、大抵はトイレにて排泄されている。ポータブルトイレは、布を掛けるなどプライバシー保護に配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時のお茶にはプーアル茶を提供したり、ラジオ体操等で運動もしていただいている。排泄の記録を基に個々にタイミング等を把握するよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午前でも午後でも入居者様のその日の気分で入浴をしていただいている。週に3回は入浴をしている。	体調を見ながら入浴を勧めているが、下肢筋力低下の方や重度の方もおられるため職員が二人介助で入浴介助して、利用者の希望や入浴方法に合わせて気持ちよく入浴していただけるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝具の手入れや、居室内を清潔にすることで安眠できる環境を整備し、気持ちよく眠ることができるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬については薬剤師の方に来ていただき勉強会をしてもらっている。入居者様の処方箋は日誌の最初に入るしており常に確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様の希望される色塗りやカラオケ等要望があればスタッフも一緒に参加したり、洗濯物たたみなどできるお手伝いは一緒に行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に外出を計画し普段行けないような場所に連れて行く。また帰宅の要望があれば同行し家の様子を見に行く	天候の良い日は、玄関前の広々としたスペースで日光浴を楽しんでいるが、企画委員会が中心になり、外出計画を立案し外出している。砂防センターに散歩に行かれる方もおられ、地域の文化祭、運動会への参加や本人の希望を把握し、春、秋の花見見物、ドライブ、外食などの外出が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	希望時には預かり金のなかから自由に使えるよう支援している		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	電話の要望がある時には電話をかけてもらっている。年賀状なども大切にしており毎年ご家族に送っている		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	共用の空間は四季に合わせた展示品を常に飾って季節を身近に感じて頂けるよう工夫している。体調管理に気をつけ空調管理にも気をつけている。	壁には、季節を感じさせる装飾がされ、利用者の作品や外出先の写真などを掲示している。畳スペースは、夜間帯の仮眠に使ったり日向ぼっこをしたりと活用されている。季節の生花が活けてあり、対面式キッチンや広々としたリビングは採光もあり清潔感あふれる共用空間である。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居室はもちろんのこと、和室や所々に置かれたソファで気軽に過ごすことができるよう工夫し環境を整えるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様の居室には、使い慣れたものなどを置いており昼間でも居室でゆっくり昼寝などできるようにしている。</p>	<p>家族写真やぬいぐるみ、寝具などの使い慣れた物を持ち込み居心地よく過ごしている。入所前の生活環境を意識した居室を再現している利用者もおられる。契約時に十分に本人の意向を聞き取り、利用者や家族の希望が反映されるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーで入居者様が安心して安全に移動等をする事ができる環境づくりになっている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない